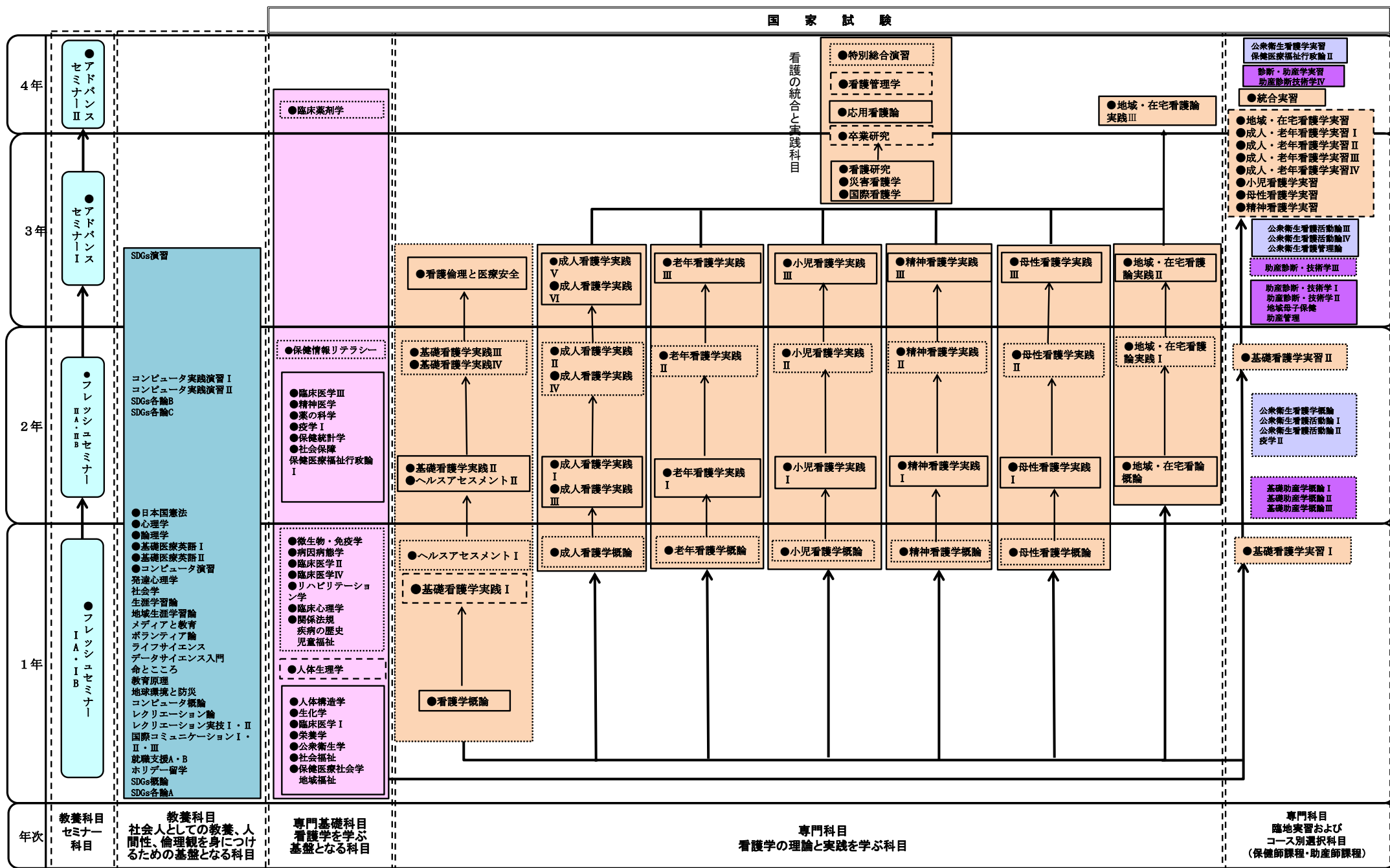


DP4: 態度・姿勢

DP2::当該分野固有の能力



ヒューマンケア学部 看護学科 ディプロマポリシー(2024年度～2026年度入学生)

1. 知識・理解

- ① 人間、生活、社会の理解、科学的な思考の基盤や社会人としての教養にかかわる知識を深めている。
- ② 看護の基盤となる人体の構造や機能、病態、治療にかかわる基礎的・系統的な知識を修得している。
- ③ 保健医療福祉にかかわる健康支援や社会保障制度の基礎的な知識を修得している。
- ④ 看護を实践するうえでの看護学の基礎的知識を修得している。
- ⑤ さまざまな発達段階や健康レベル、看護提供の場において看護に必要な基礎的知識を修得している。
- ⑥ 看護を統合的、発展的にとらえ探求していくうえでの基礎的知識を修得している。

2. 当該分野固有の能力

- ① 地域、在宅、病院、施設等の多様な場において、さまざまな発達段階、健康レベルの人々に応じた看護が実践できる。
- ② 対象の人権を尊重し倫理的判断をもって接することができる。
- ③ 対象を身体的・精神的および社会的側面から全人的にとらえ、健康上の課題を抽出し、科学的根拠に基づき個別性のある看護計画を立案、実施し、その成果を評価できる。
- ④ 対象への看護実践を通し、多職種との連携・協働に必要な行動をとることができる。

3. 汎用的能力

- ① 自ら問題を見つけ、様々な知識や手段を駆使して対策を立案し、解決のための行動がとれる。
- ② チームの中で、自己の役割を果たすためのリーダーシップやメンバーシップを発揮できる。
- ③ 日本語や英語を用いて、口頭や記述により効果的なコミュニケーションを行なえる。
- ④ 他者とのかかわりの中で、報告・連絡・相談が自発的にできる。
- ⑤ 学修や社会生活を送るうえでのルールやマナーを守り、規律ある行動がとれる。

4. 態度・姿勢

- ① 他者を思いやり権利を守りながら、自分の思いや考えを伝えるアサーティブな姿勢を備えている。
- ② 学修や課題に対し、主体的、客観的、創造的に取り組む姿勢を備えている。
- ③ 常に自己省察を行い、困難な状況にあっても柔軟で粘り強く対応しようとする姿勢を備えている。
- ④ 看護専門職としての自覚をもち、未来に向かって看護を探究し続ける姿勢を備えている。

ヒューマンケア学部 看護学科
カリキュラムツリー 2023年度入学生

 前期
 後期
 通年
 必修

DP1 幅広い知識と教養を基盤にして、生命の尊厳と人権を尊重する倫理的態度を身につけるとともに、他者を受け止め思いやりある行動がとれる

DP2 看護職に就くための基礎的な知識と技術を修得している。

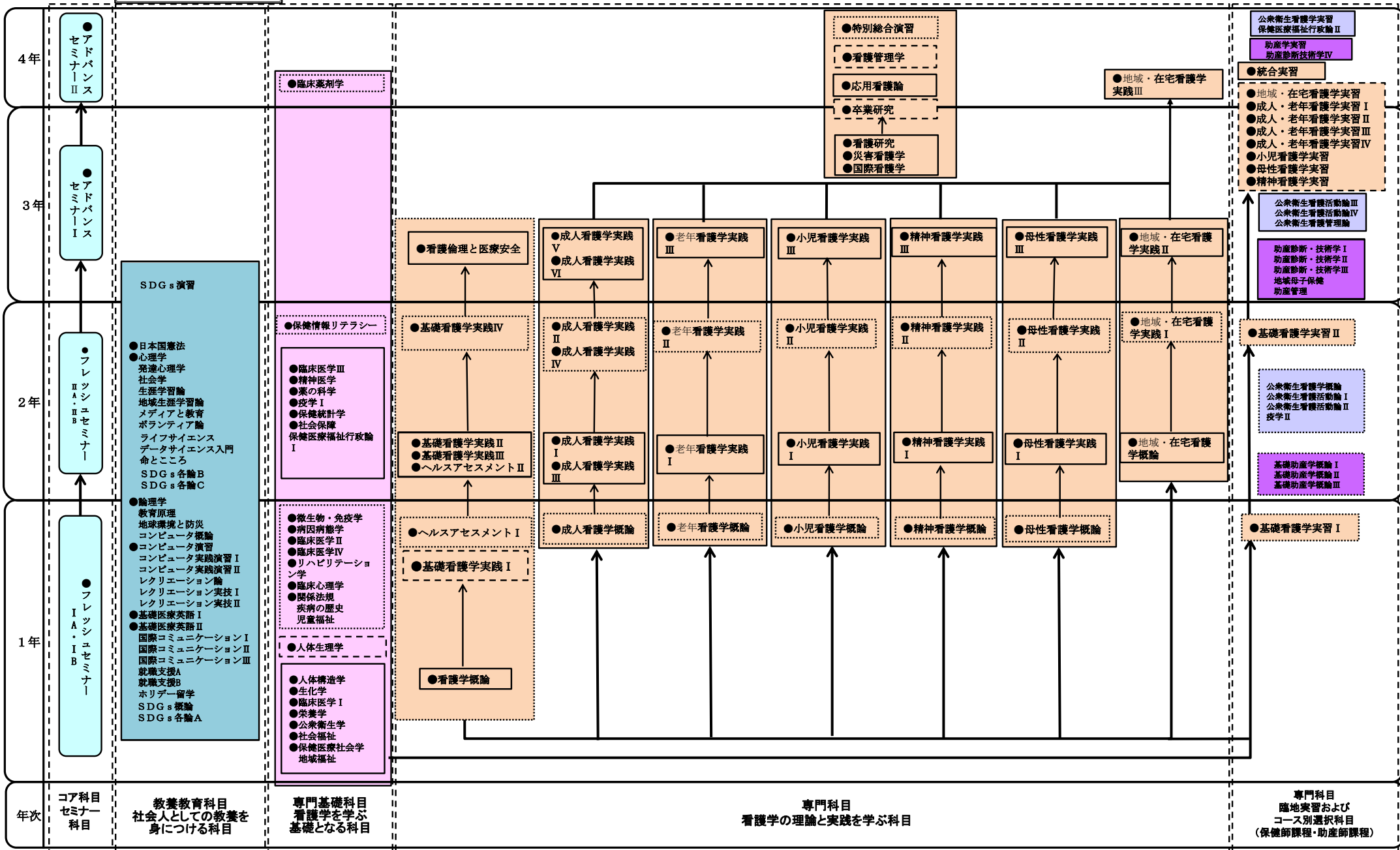
DP3 関係する人々と良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有している。

DP4 看護の対象を身体的・精神のおよび社会的側面から全人的にとらえ、様々な発達段階、健康レベルに応じた個別性ある看護を科学的根拠に基づき実践できる。

DP5 対象への看護実践を通して、多職種と連携・協働し、調整の機能を果たそうとする姿勢を身に付けている。

DP6 社会への動向への関心と専門職業人としての自覚を持ち、看護学への探究心と社会へ貢献する姿勢を有している。

国家試験



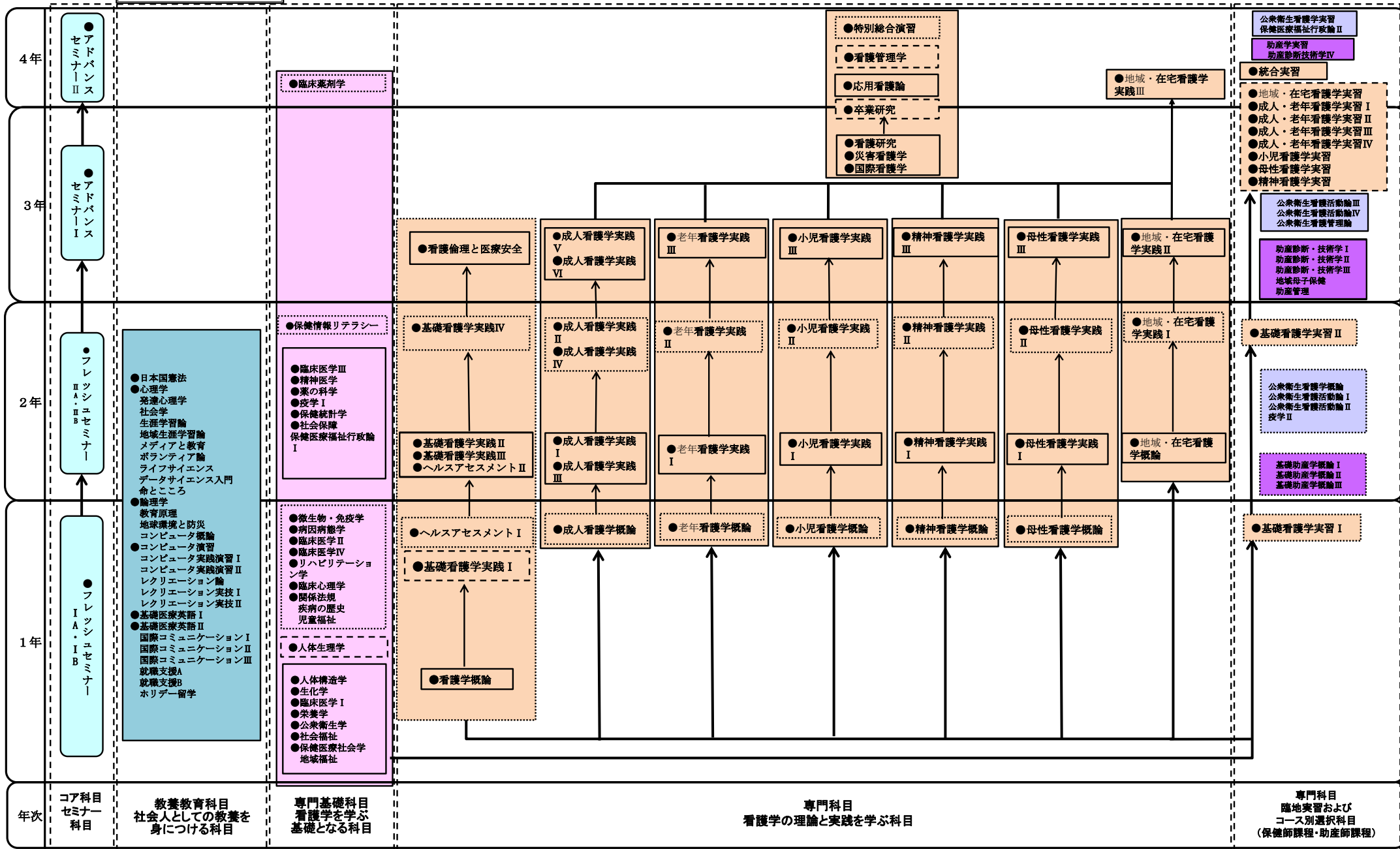
ヒューマンケア学部 看護学科 カリキュラムツリー 2022年度入学生

—— 前期
----- 後期
- - - - 通年
● 必修

DP1 幅広い知識と教養を基盤にして、
生命の尊厳と人権を尊重する倫理的
態度を身につけるとともに、他者を受
け止め思いやりある行動がとれる

DP2 看護職に就くための基礎的な知識と技術を修得している。
DP3 関係する人々と良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有している。
DP4 看護の対象を身体的・精神のおよび社会的側面から全人的にとらえ、様々な発達段階、健康レベルに応じた個性ある看護を科学的根拠に基づき実践できる。
DP5 対象への看護実践を通して、多職種と連携・協働し、調整的機能を果たそうとする姿勢を身につけている。
DP6 社会の動向への関心と専門職業人としての自覚を持ち、看護学への探究心と社会へ貢献する姿勢を有している。

国家試験



ヒューマンケア学部 看護学科
カリキュラムツリー 2019～2021年度入学生

—— 前期
----- 後期
- - - 通年
● 必修

DP1 健康で幸福な生活の実現に貢献する事を使命とし、倫理観、道徳観、人間性を身につけている。

DP2 共感・認知する専門職としてのコミュニケーション能力を有し、協同の役割がとれる。

DP5 看護学の科学的探究に関心を寄せることができる。
DP6 専門職業人としての研鑽、社会に貢献する態度を有している。

DP4 根拠ある看護を実践し、未知の課題への対応能力を有している。
DP3 人間の身体的・精神的な側面を統合して全人的にアセスメントする能力を身につけている。

国家試験

